



2014年3月期 決算説明会

2014年5月7日

JASDAQ:6467

株式会社 ニチダイ
NICHIDAI CORPORATION

<http://www.nichidai.jp/>

ネットシェイプ事業

単独

ニチダイ

- ◆主に自動車のエンジン・トランスミッション・駆動系部品などの成型に使われる精密鍛造金型。
- ◆切削なしに部品成型を行うネットシェイプがコア技術。
- ◆自動車部品、スクロール鍛造品などの精密鍛造品の量産。



精密鍛造金型



スクロール鍛造品

海外拠点

ニチダイアジア (NDA)

- ◆タイに立地する金型販売拠点。

ニチダイUSA (NUC)

- ◆米国オハイオ州にある金型販売拠点。

※上記2社は、今期より連結対象

アッセンブリ事業

ニチダイプレシジョン (NPC)

- ◆ディーゼルエンジン用 VGターボチャージャー部品のアッセンブリ(組立)。



VGターボチャージャー部品

※2014年4月1日付で、ニチダイプレシジョン株式会社は株式会社ニチダイに吸収合併されました。

ニチダイタイランド (NDT)

- ◆タイ・バンコク近郊にある海外子会社。
- ◆精密鍛造金型、スクロール鍛造品の生産、ターボチャージャー部品の組立を行う。ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方におけるアジアの戦略拠点。



フィルタ事業

ニチダイフィルタ (NFC)

- ◆食品、医薬品、原子力、航空宇宙、ヘルスケア製品など、多様な産業分野で使われる積層焼結金網フィルター。



積層焼結金網フィルター

タイ・シタート・メッシュ (TSM)



- ◆タイ北部・チェンマイ近郊に立地するフィルターの生産拠点。

I .14/3期実績

連結

単位: 百万円

	13/3 実績 12/4-13/3	14/3 当初計画 13/4-14/3 13年5月発表	14/3 修正計画 13/4-14/3 14年2月発表	14/3 実績 13/4-14/3	伸び率
売上高	13,154	13,500	14,100	14,272	8.5%
売上総利益	2,612	2,820	3,070	3,232	23.7%
販売管理費	1,719	1,820	1,860	1,926	12.0%
営業利益	893	1,000	1,210	1,306	46.3%
営業外損益	△ 137	50	△ 20	△ 26	—
経常利益	1,030	950	1,230	1,332	29.3%
当期純利益	561	520	720	809	44.2%

* 百万円未満切り捨て。

I .14/3期実績 — 四半期別業績推移 —

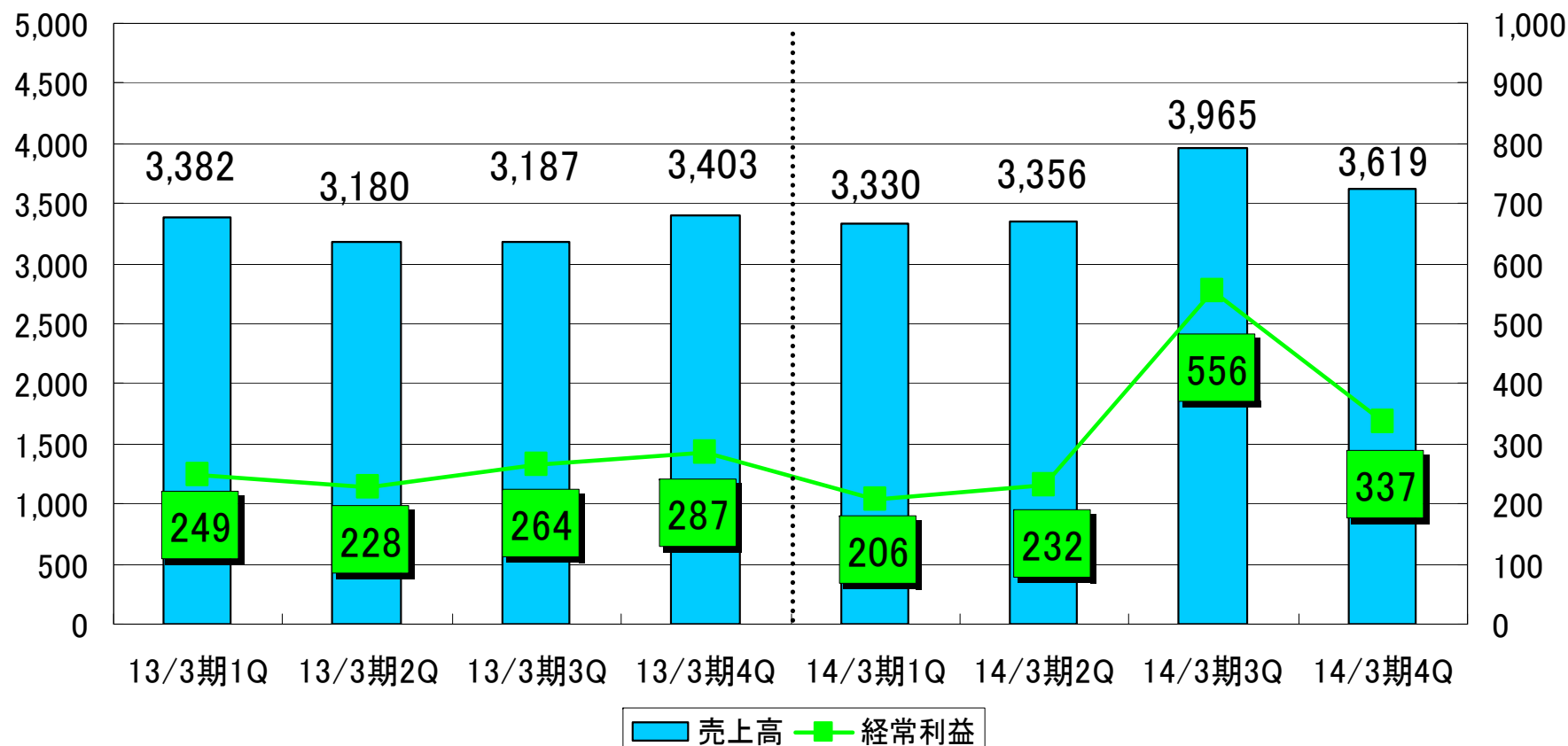
- 3事業とも好調に推移したことから第3四半期の売上高、経常利益が増加。
- 2013年度は過去最高の売上高、経常利益を達成。

売上高(左軸)

単位:百万円

経常利益(右軸)

単位:百万円



I .14/3期実績 — 事業別売上高の状況 —

連結

単位：百万円

事業	13/3 通期実績 12/4-13/3	14/3 当初計画 13/4-14/3 13年5月発表	14/3 修正計画 13/4-14/3 14年2月発表	14/3 通期実績 13/4-14/3	伸び率
ネットシェイプ	6,118	6,930	7,085	7,170	17.2%
アッセンブリ	5,578	4,950	5,360	5,398	△ 3.2%
フィルタ	1,456	1,620	1,655	1,703	16.9%
連結計	13,154	13,500	14,100	14,272	8.5%

▶金型部門：
 国内・海外とも下半期より
 売上高が増加。
 ▶精密鍛造品部門：
 スクロール鍛造品が好調に
 推移。

▶特定機種のVGターボ
 チャージャー部品の売上高
 がけん引。

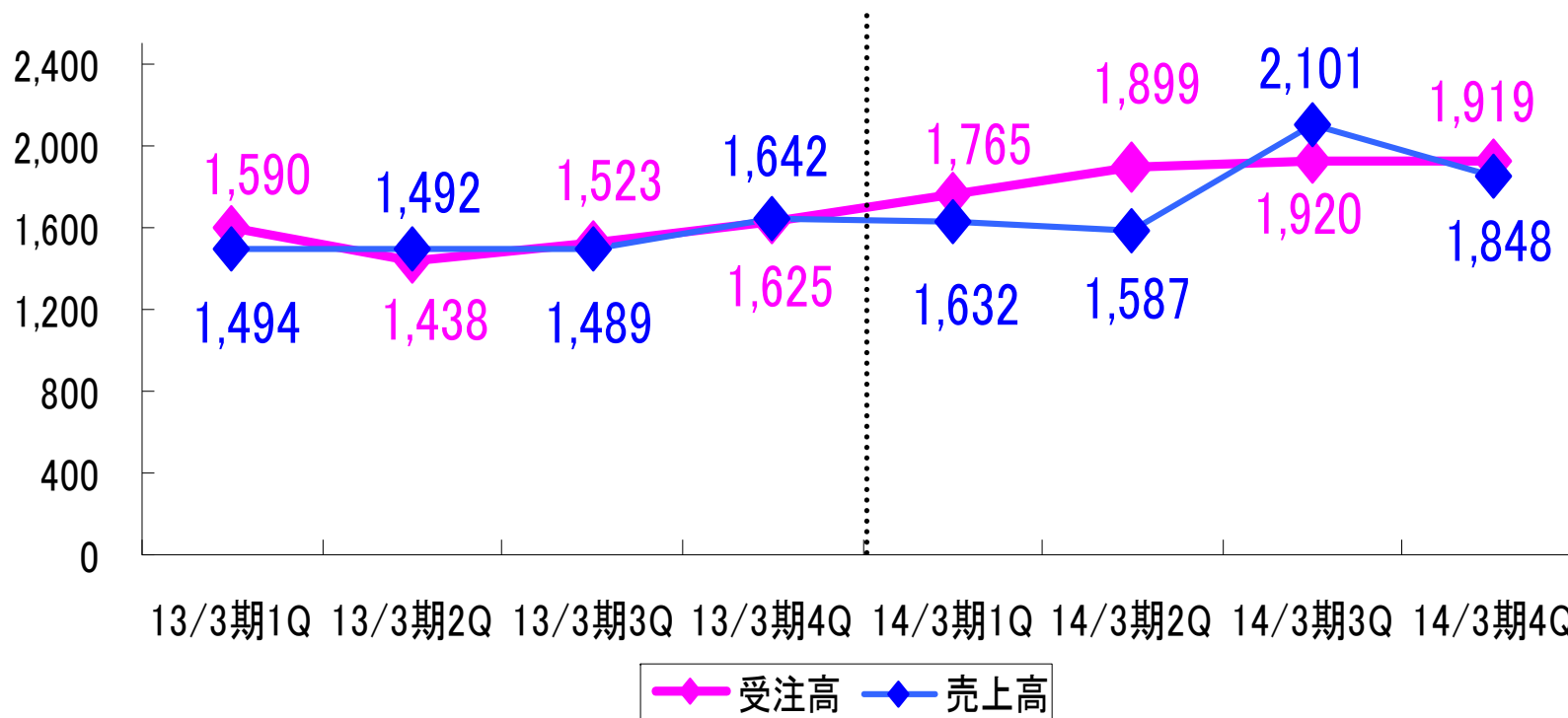
▶大口輸出製品の売上高
 が増加。

* 百万円未満切り捨て。

- 金型部門: 下半期より、金型部門の売上高が増加傾向になる。
- 精密鍛造品部門: スクロール鍛造品が堅調に推移。

ネットシェイプ事業受注・売上高推移

単位: 百万円



* 百万円未満切り捨て。

単位：百万円

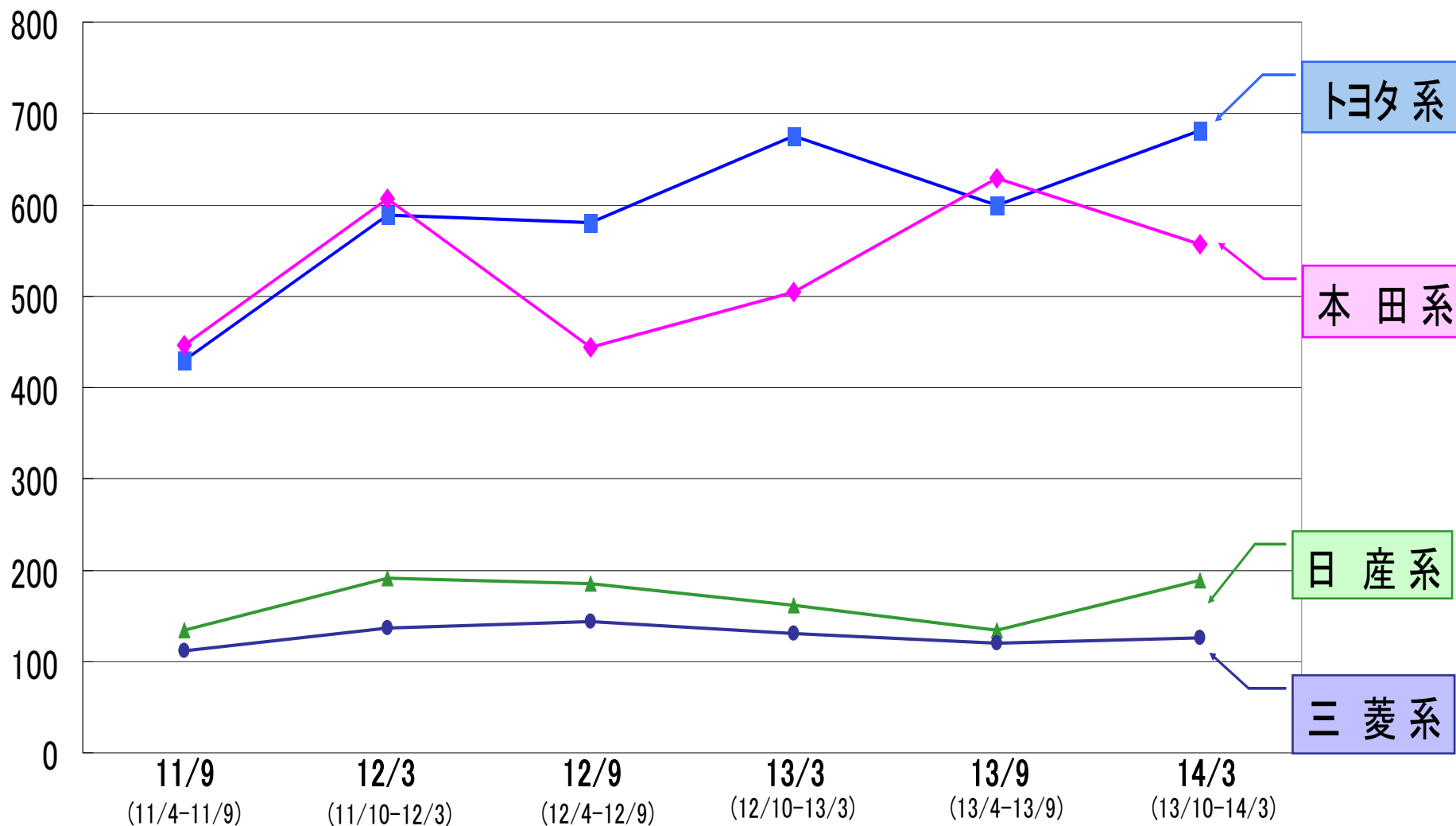
	13/3 実績	14/3 実績	伸び率
国内	4,146	4,388	5.9%
海外合計	867	1,176	35.6%
アジア	732	966	31.9%
北米	104	181	74.0%
その他	29	27	△ 6.9%
金型	5,013	5,564	11.0%
精密鍛造品	1,105	1,605	45.2%
ネットシェイプ事業計	6,118	7,170	17.2%

■ 下半期、国内向けの売上高が増加。

■ アジア地域はタイ・韓国・中国向けが増加。
■ NDTにおける金型生産開始。

■ スクロール鍛造品が増加。
■ NDTにおけるスクロール鍛造品の生産増加。

単位: 百万円

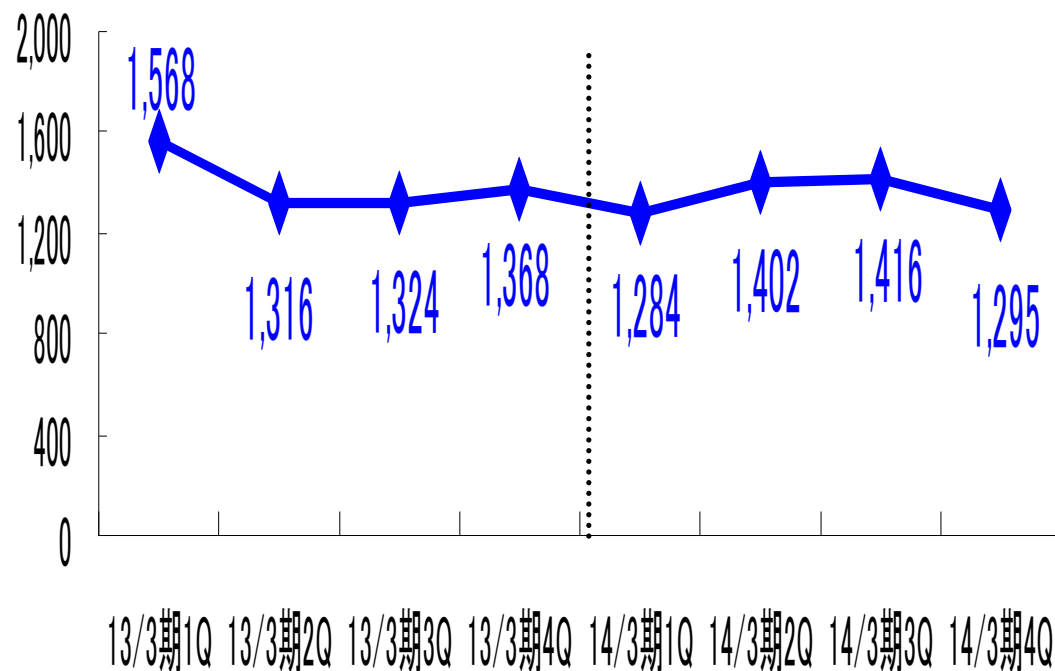


I .14/3期実績 — アッセンブリ事業概況 —

- VGターボチャージャーがモデルチェンジの端境期のため、前年より売上高が減少。
- 特定機種 of VGターボチャージャー部品の売上高が増加し計画は上回る。

アッセンブリ事業 売上高推移

単位:百万円



国内外別売上高推移

単位:百万円

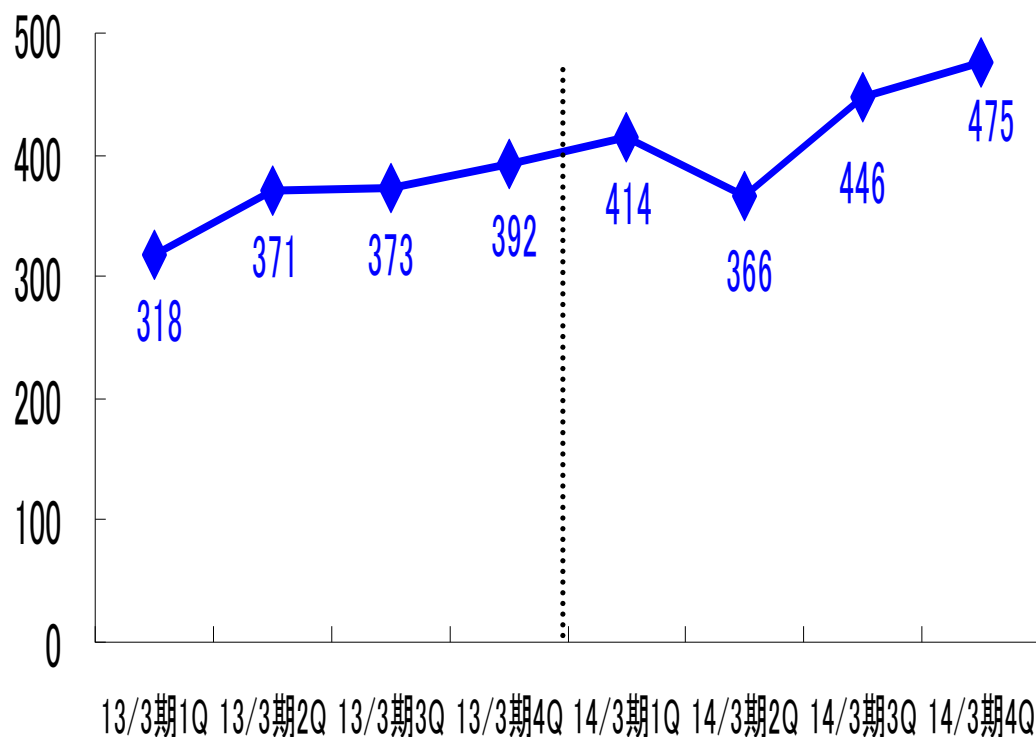
	13/3 実績	14/3 実績	伸び率
国内	2,485	2,653	6.7%
海外	3,093	2,745	△ 11.2%
総合計	5,578	5,398	△ 3.2%

I .14/3期実績 — フィルタ事業概況 —

- 中国向けなど輸出案件のフィルター製品の売上高が増加。
- 国内向けは、火力発電用などが好調に推移。

単位: 百万円

フィルタ事業 売上高推移



国内外別売上高推移

単位: 百万円

	13/3 実績	14/3 実績	伸び率
国内	1,055	1,168	10.7%
海外	401	534	33.2%
総合計	1,456	1,703	16.9%

I .14/3期実績 — セグメント別P/L —

連結

単位：百万円

	13/3			14/3		
	売上高	経常利益	利益率	売上高	経常利益	利益率
ネットシェイプ	6,118	349	5.7%	7,170	487	6.8%
アッセンブリ	5,578	396	7.1%	5,398	497	9.2%
フィルタ	1,456	284	19.5%	1,703	347	20.4%
連結計	13,154	1,030	7.8%	14,272	1,332	9.3%

▶ 下期より、金型部門の売上高が増加し収益性が向上。
 ▶ 精密鍛造品部門の増収の影響。

▶ 前年、輸送コストが増加した影響あり。
 ▶ コスト削減の施策を実施。

▶ 売上高増加による増益。

連結

単位:百万円

	13/3 実績	比率	14/3 実績	比率
売上高	13,154	100.0%	14,272	100.0%
材料費	5,056	38.4%	4,885	34.2%
製品仕入	556	4.2%	583	4.1%
外注加工費	1,275	9.7%	1,381	9.7%
補助材料費	416	3.2%	444	3.1%
人件費	2,306	17.5%	2,442	17.1%
減価償却費	530	4.0%	670	4.7%
在庫増減	111	0.8%	△ 16	△ 0.1%
その他	511	3.9%	614	4.3%
売上原価	10,542	80.1%	11,039	77.3%
売上総利益	2,612	19.9%	3,232	22.7%

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位:百万円

	13/3 実績	比率	14/3 実績	比率
売上高	13,154	100.0%	14,272	100.0%
荷造・運賃	217	1.7%	191	1.3%
旅費交通費	105	0.8%	110	0.8%
人件費	807	6.1%	918	6.4%
減価償却費	72	0.6%	94	0.7%
賃借料	44	0.3%	52	0.4%
その他	472	3.6%	558	3.9%
販売・管理費	1,719	13.1%	1,926	13.5%

荷造・運賃

▶前年度は、タイ洪水の影響でアッセンブリ事業の荷造・運賃が増加。

連結

単位:百万円

	13/3 実績	14/3 実績	増減
現金預金	1,743	2,086	343
受取手形	740	776	36
売掛金	2,747	2,738	△ 9
たな卸資産	2,091	2,115	24
その他	325	291	△ 34
貸倒引当金	△ 4	△ 5	△ 1
流動資産計	7,644	8,003	358
有形固定資産	6,111	6,723	612
無形固定資産	99	111	12
投資その他の資産	509	381	△ 127
固定資産計	6,720	7,217	496
資産合計	14,365	15,221	855

有形固定資産の増加
 ▶ニチダイタイランドへの投資による。

* 百万円未満切り捨て。

I .14/3期実績 – B/S:負債・純資産の状況 –

連結

単位:百万円

	13/3 実績	14/3 実績	増減
買掛金	1,328	1,633	305
短期借入金	2,201	1,688	△ 513
未払法人税等	110	176	66
賞与引当金	137	137	0
その他	751	789	38
流動負債計	4,529	4,425	△ 103
長期借入金	1,369	1,033	△ 336
その他	528	751	223
固定負債計	1,897	1,785	△ 112
負債計	6,427	6,210	△ 216
資本金	1,429	1,429	0
資本剰余金	1,192	1,192	0
利益剰余金	4,891	5,614	723
少数株主持分	472	710	238
その他	△ 48	61	110
純資産計	7,938	9,010	1,072
負債・純資産合計	14,365	15,221	855

* 百万円未満切り捨て。

I .14/3期実績 — CFの状況 —

連結

単位：百万円

	13/3	14/3	増減
営業活動によるCF	1,608	2,366	758
投資活動によるCF	△ 1,005	△ 1,064	△ 58
財務活動によるCF	△ 743	△ 1,056	△ 313
現金及び現金同等物の増減額	△ 112	287	399
現金及び現金同等物の期首残高	1,500	1,387	△ 112
現金及び現金同等物の期末残高	1,387	1,830	442
FCF	602	1,302	699

営業活動によるCF

税金等調整前当期純利益

13/3期 930百万円 14/3期 1,314百万円

仕入債務の増減額

13/3期 △295百万円 14/3期 247百万円

* 百万円未満切り捨て。

Ⅱ. 中期経営計画

2011～2013年度 中期経営計画を振り返って

成果

- ✓海外展開への対応
 - NDTにて、スクロール鍛造品の量産(2012年度)、金型生産(2013年度)開始。
 - NDTにおけるアッセンブリ生産が拡大。全社で海外売上高比率30%以上となる。
- ✓技術開発の推進および新領域の開拓
 - 小型ローター部品、中空工法等の精密鍛造技術を活用した開発が進展。
 - フィルタ事業における大型海水ストレーナーなど新分野向けのフィルター製品の開発の進展。
- ✓QDC改善による製品競争力の強化
 - 金型生産において、リードタイム短縮などの施策を推進。
 - 塑性加工技術を活用し、ターボチャージャー部品の構成部品内製化を始める。

課題

- ✓金型事業における海外展開⇒アジア地域を中心とした海外戦略の推進
- ✓開発品の事業化⇒精密鍛造品事業の拡大
- ✓QDCの改善
 - ⇒ネットシェイプ事業 さらになるQDCの改善
 - ⇒アッセンブリ事業 塑性加工技術を活用した内製化領域の拡大

11/3期と14/3期の比較

単位:百万円

	11/3期	14/3期
売上高	10,301	14,272
経常利益	681	1,332
経常利益率	6.6%	9.3%
海外売上高比率	24.6%	34.5%

2014年度以降の3年間でさらなる成長のための基礎固めの時期と位置付ける。次の成長フェーズに向け、インフラの再編を含めた再構築を実施する。

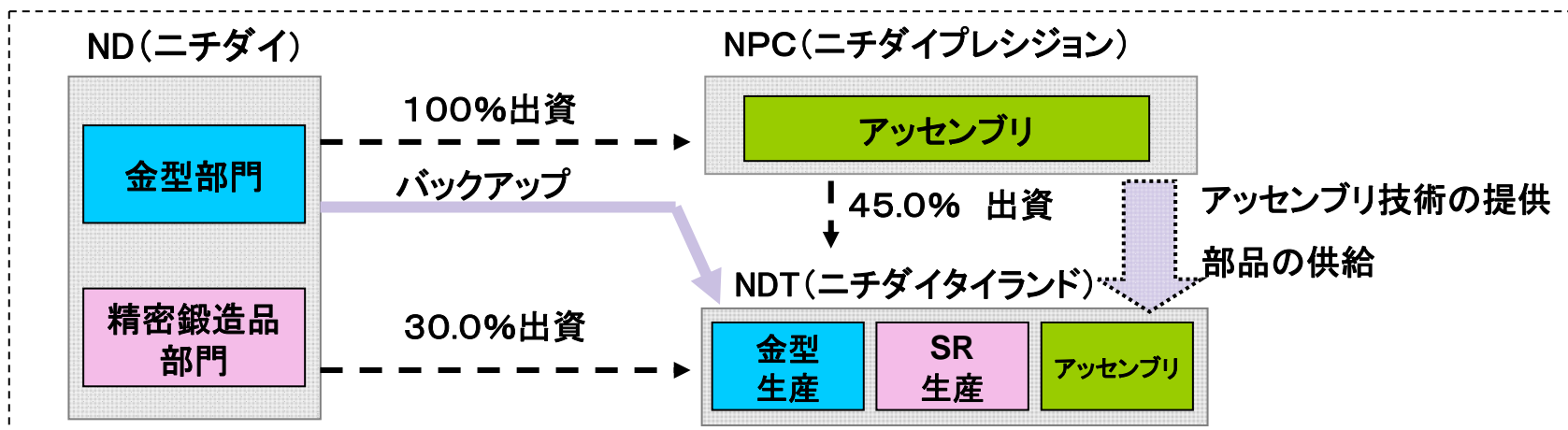
戦略のポイント

- ①海外展開への対応
- ②新規事業の立ち上げ～量産系事業の拡大
- ③QDC改善による製品競争力の強化
- ④自動車産業以外の領域拡大

組織再編について—ニチダイによるニチダイプレシジョンの吸収合併

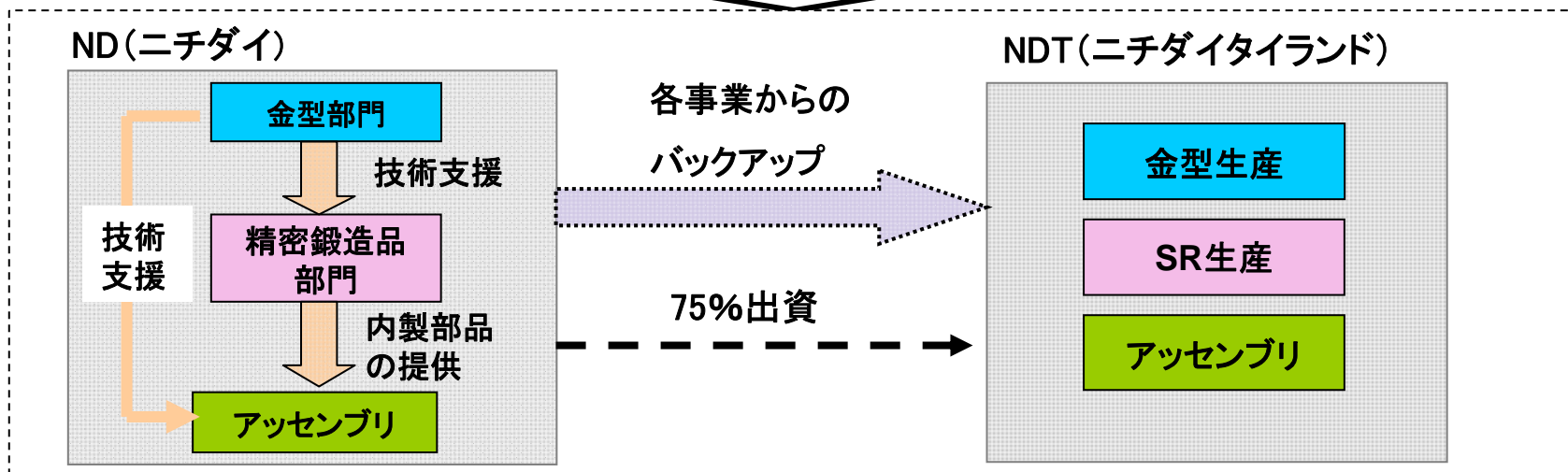
- ▶ 塑性加工技術の融合化を図り、シナジー効果創出を狙う。
- ▶ ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業双方の生産拠点をもちNDT(ニチダイタイランド)支援強化。

再編前



再編後

2014年
4月1日
以降



➤ 戦略のポイント① 海外展開への対応

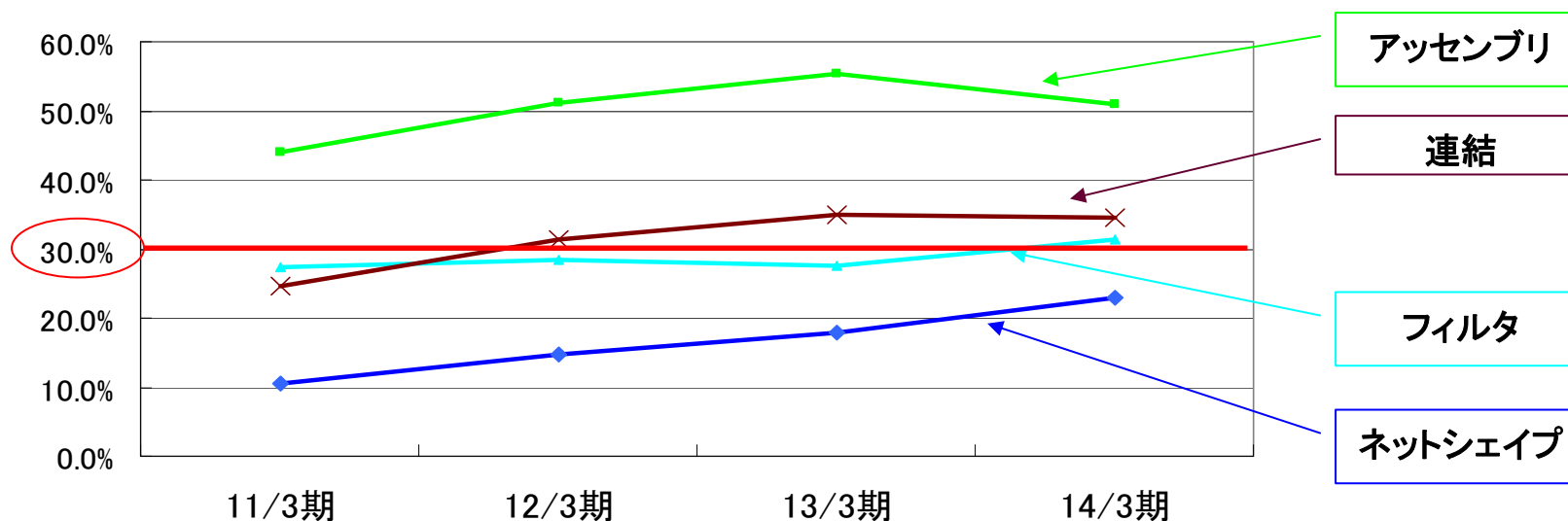
ネットシェイプ事業

- NDTのスクロール鍛造品の量産が本格化。安定稼働を目指す。
 - NDTにおける金型生産拠点の活用および国内外拠点の連携をはかり、アジア地域における需要拡大を目指す。
- ⇒ ネットシェイプ事業における海外売上高比率30%を目指す。

アッセンブリ事業

- 今後、海外シフトが強まることが予想されるターボチャージャー部品への対応。

事業別海外売上高比率(11/3期～14/3期実績)



➤ 戦略のポイント② 新規事業の立ち上げ～量産系事業の拡大

ネットシェイプ事業

- 現在、開発を行っている中空工法、小型ローター部品等の事業化の見極め。
- 金型部門、精密鍛造品部門と部品内製化が開始されたアッセンブリ事業との連携強化。

アッセンブリ事業

- 塑性加工技術を活用し、ターボチャージャー部品の構成部品の内製化を進める。



中空工法成形品

➤戦略のポイント③ QDC改善による製品競争力の強化

ネットシェイプ事業

➤受注から出荷までのリードタイム短縮に関する改善策は継続。

アセンブリ事業

➤構成部品の内製化によりターボチャージャー部品のコストダウンを目指す。

➤ターボチャージャー部品の構成部品内製化およびサプライチェーンの見直しにより、収益性、資産効率性を追求する。



VGターボチャージャー部品



ガソリンターボチャージャー部品

➤ 戦略のポイント④ 自動車産業以外の領域拡大

- ✓ フィルタ事業の顧客は、自動車産業以外がベース。
- ✓ フィルタ事業の成長により、自動車産業以外の領域の拡大ひいては当社グループのリスク分散につなげていく。

フィルタ事業

- ・焼結技術を活用した、新領域の拡大を目指す。
- ・2014年度以降は、大型海水ストレーナーの売上高が伸びる見込み。
- ・海外向けに関しては、アジア地域を中心に各種産業領域における拡販を目指す。

11/3期～14/3期 フィルタ事業の売上高と経常利益の推移

単位:百万円

	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期
売上高	1,136	1,356	1,456	1,703
経常利益	109	206	284	347
利益率	9.6%	15.2%	19.5%	20.4%

Ⅲ.15/3期計画

Ⅲ.15/3期計画 — P/L:売上・利益 —

連結

- ▶売上高は過去最高を更新する見込み。
- ▶アッセンブリ事業の減収により、経常利益ベースで減益の計画。

単位:百万円

	14/3 実績 13/4-14/3	15/3 計画 14/4-15/3	伸び率
売上高	14,272	14,500	1.6%
売上総利益	3,232	3,050	△ 5.7%
販売管理費	1,926	1,910	△ 0.8%
営業利益	1,306	1,140	△ 12.7%
営業外損益	△ 26	40	—
経常利益	1,332	1,100	△ 17.5%
当期純利益	809	710	△ 12.3%

*百万円未満切り捨て。

連結

単位：百万円

事業	14/3 通期実績 13/4-14/3	15/3 通期計画 14/4-15/3	伸び率
ネットシェイプ	7,170	7,760	8.2%
アッセンブリ	5,398	4,900	△ 9.2%
フィルタ	1,703	1,840	8.0%
連結計	14,272	14,500	1.6%

▶ 金型部門：年度前半に消費税増税の影響を見込む。後半より回復が見込まれる国内需要の取り込みを目指す。
 ▶ 金型部門における海外売上高の増加を見込む。
 ▶ NDTにおけるスクロール鍛造品の生産が本格化。売上高が増加する見込み。

▶ 引き続きVGターボチャージャー部品がモデルチェンジの端境期になっていることから売上高が減少。

▶ 大型海水ストレーナー等、新用途となる製品が売上高に貢献する見込み。

* 百万円未満切り捨て。

連結

単位：百万円

	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	計画
設備投資額	524	434	372	627	1,605	1,290	800
減価償却費	633	557	532	539	602	764	910

* 百万円未満切り捨て。

IV. 配当について

IV. 配当について

	第2四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
11年3月期	3.00	6.00	9.00
12年3月期	6.00	6.00	12.00
13年3月期	8.00	8.00	16.00
14年3月期 (期初予想)	8.00(実績)	8.00	16.00
14年3月期 (修正予想) 2014年4月24日発表	8.00(実績)	10.00 (普通配当8.00) (特別配当2.00)	18.00 (普通配当16.00) (特別配当2.00)
15年3月期(予想)	8.00	8.00	16.00

本日は、ありがとうございました。

株式会社 ニチダイ

NICHIDAI CORPORATION

- ・ 本資料は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。
- ・ 従いまして、様々な不確定要素が内在しており、結果的には実績が見通しと異なる場合があります。

IR窓口：経営企画室／紺野

Tel : 0774-62-3485

Fax : 0774-65-2301

E-mail : konno@nichidai.co.jp